

一般医療機器届出番号：13B1X10109000145 販売名：テガダーム マキシマルバリアプリコーションパック

1. 皮膚消毒

パックを開封する前にカテーテル挿入部および周囲皮膚の消毒を行います。

2. パックの開封

マキシマルバリアプリコーションパック（以下「パック」と表記）を開封します。

パック内容物の落下や、汚染の可能性があるので、不安定な台の上や狭い場所でのパック開封は行わないで下さい。



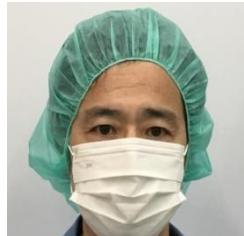
3. マスク・キャップの装着

パック内からマスク・キャップを取り出します。この時、他の内容物に触れないように注意して下さい。

マスク⇒キャップ

の順に装着します。

装着は他の内容物を汚染することを避けるため、開封したパックから離れたところで行います。



4. 手指衛生

アルコール製剤で衛生学的に手指衛生を行います。



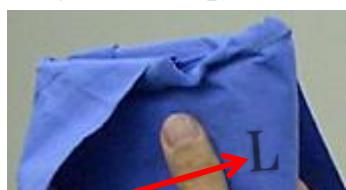
5. ガウンの装着

① 介助者は清潔操作に注意して、中のガウンに触れないようにラップ紙を開封し、術者（カテーテル挿入者）へ渡します。



注) 介助者は中のガウンに触れない

② 術者はガウンの上下を確認（「L」の文字上方方向が首側）し、介助者からガウンを受け取ります。

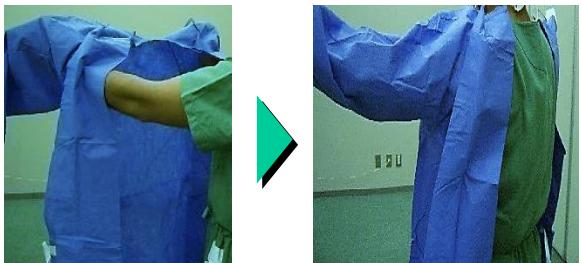


注) ここに書かれている「L」の文字を確認

③ 両手をそれぞれ袋状になっている部分に差し込みます。



④ そのまま腕を押し進め、胸を張るようにするとガウンが広がります。



⑤ 介助者は術者の背中側に立ち、外側を汚染しないように中に手を入れて袖を引張ります。



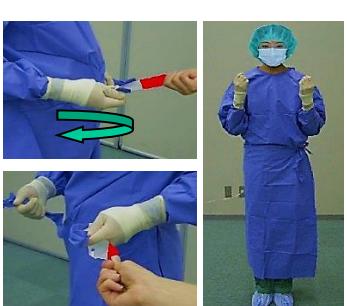
ここから手を入れて袖を引張る。

⑥ 介助者は首のメカニカルファスナーと首・背中側の白い紐を結びます。この後、術者は滅菌手袋を装着します。



先に腰部の白い紐を結びます。

⑦ 術者はガウンの前の紐の固定紙を両手で持ち、左側の紐を外します。固定紙の色のついている部分を介助者へ渡し、術者はそのまま左回りし、前側を紐で結ぶと装着が完了です。



一般医療機器届出番号 : 13B1X10109000145 販売名 : テガダーム マキシマル バリア プリコーションパック

6. ドレープの展開

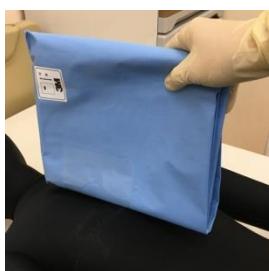
- ① 介助者はラップ材を開封後、ドレープを術者に渡します。
その際、中のドレッシング材を清潔な場所に置いておきます。



- ② レープの穴の部分の剥離紙を剥がします。
ラベルに表示されている向きを確認してください。



- ③ カテーテル穿刺部が穴の中心に
あたるよう、ドレープを折った
状態で粘着部を皮膚にあてます。



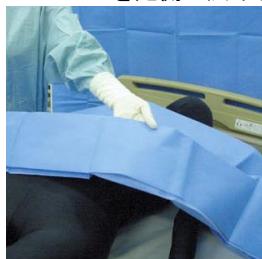
- ④ ドレープの折りの部分の中央を
開いて、粘着部分をしっかりと貼
りつけます。



- ⑤ ドレープを左右に広げます。



- ⑥ ドレープを足側に広げます。



- ⑦ 頭側に広げます。



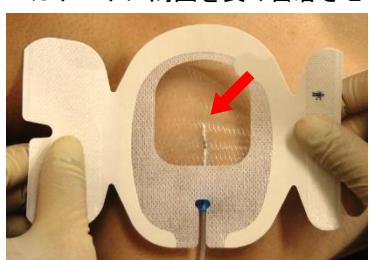
- ⑧ ドレープを完全に広げて完了です。



7. カテーテルの挿入・ドレープ除去

8. ドレッシング材の貼付

- ① カテーテル挿入部位にドレッシン
グ材のフィルム部分の中央を合わせ、
カテーテル周囲を良く密着させます。



- ② 周囲をしっかりと密着させ、全体を
貼付した後、本品を押さえながら
ゆっくりとライナー紙（表面）の
フレーム部分を剥がします。



- ③ 付属の固定用テープをカテーテルの
下からかみ合わせるように貼付し、記
録用ラベルに日付などを記入して観察
の妨げにならない位置に貼付します。

